

肩書：南極料理人

略歴：1952（昭和27）年、北海道留萌市生まれ。
網走南ヶ丘高校卒業後、舞鶴海上保安学校へ。
海上保安庁在任中に第30次南極観測隊、第38次南極観測隊に参加。
第38次隊では、地球上最も過酷といわれる平均気温-57℃（当時）の「ドームふじ基地」で越冬した。
著書『面白南極料理人』はその毎日を綴った爆笑エッセイ。
巡視船くみうら>の教官として海猿のタマゴたちを教えた後、2009年に札幌に戻り、食を通して様々なコミュニケーションを図る「オーロラキッチン」を設立。
2009年8月、著書『面白南極料理人』が映画化され、主人公・西村役に堺雅人氏を迎え全国で公開。
現在は執筆業に加え、講演会、テレビ・ラジオ・雑誌などのメディア出演、フードプロデュースなど多方面で活躍中。

○映画『南極料理人』（脚本・監督：沖田修一
原作：西村淳「面白南極料理人」）

平均気温-54℃・ペンギンもアザラシもウィルスさえ存在しない「ドームふじ基地」で、究極の単身赴任を送る8人の男たちの生活を、“おいしいごはん”を中心に・家族の絆や仲間の大切さを描いた「舞台は極寒、でも心の芯がじんとあたたかくなる“フード・エンタテイメント”」



2009年度新藤兼人賞受賞 受賞
第一回 日本シアタースタッフ映画祭
邦画部門2位
主演男優賞・監督賞 受賞

著書：「面白南極料理人」（新潮文庫）
「面白南極料理人 笑う食卓」（新潮文庫）
「面白南極料理人 お料理なんでも相談室」（新潮文庫）
「身近なもので生き延びろー知恵と工夫で大災害に勝つー」（新潮文庫）
「面白南極料理人 名人誕生」（新潮文庫）
「南極料理人の悪ガキ読本 北海道旨いぞレシピ付き」（亜璃西社）
「いい加減は良い加減 南極料理人のレシピ&ひとりごと」（ゴマブックス）
「南極料理人の使いきりレシピ」（光文社）
「ケンカ、友情、サツ婆ちゃん ちょっぴり初恋 南極料理人の悪ガキ時代」（光文社文庫）